



rimaster

THRU BOARD

SL-TH

取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。

ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意（警告を含む）
が必要なことを示す記号



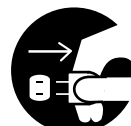
一般的注意



手をはさまれる



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

してはいけない行為
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因になります。

- ・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落したり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



内部に物を入れない

通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となります。



電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



⚠ 注意

次のような場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ。
- ・油煙や湯気の当たるところ。
- ・熱器具の近くなど。
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。



他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



本製品の上に重い物を置かない

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



長時間使用しないときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。



お手入れをするときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



目次

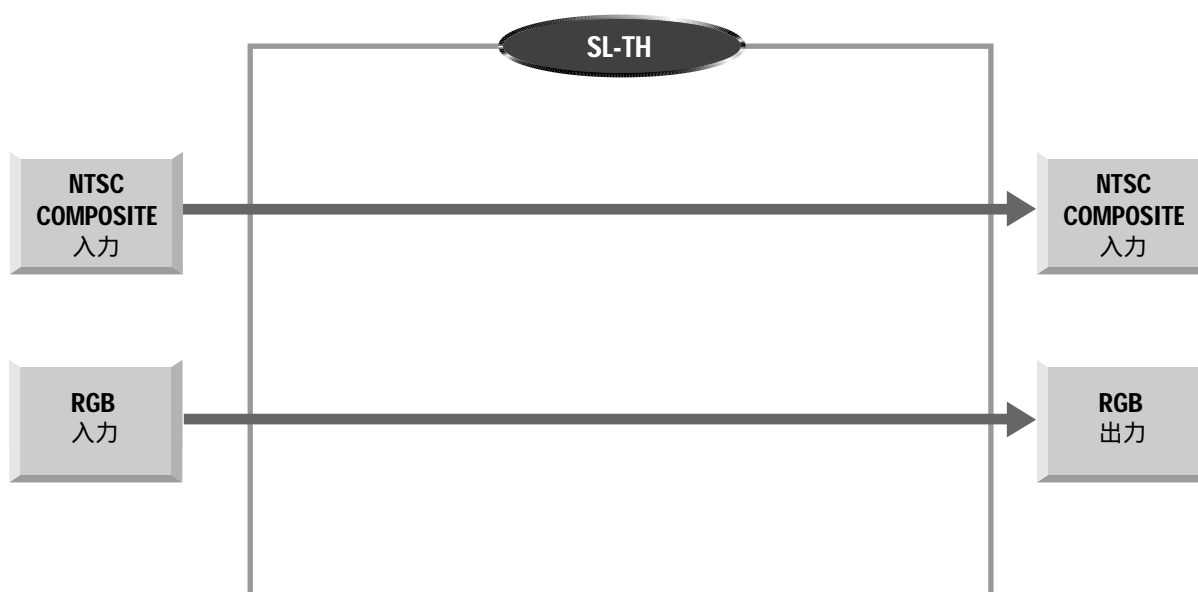
| | |
|------------|---|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 製品概要 | 1 |
| 3. 各部の詳細 | 2 |
| 4. ボードの挿入 | 3 |
| 5. 入力設定と動作 | 3 |
| 6. 主な仕様 | 4 |

1. はじめに

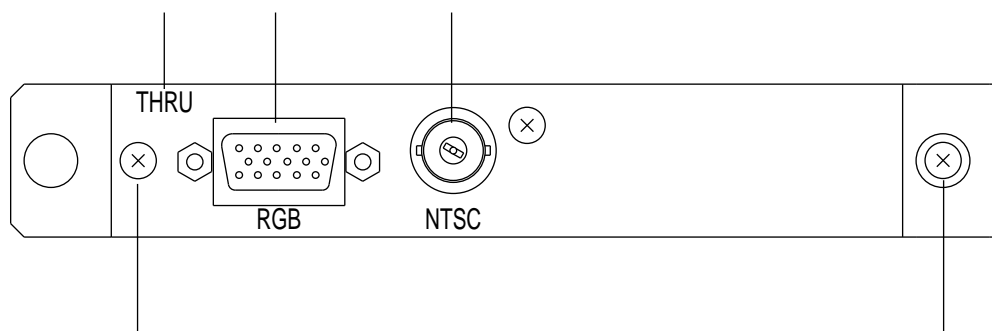
本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に必ず本取扱説明書をお読みになり、本製品に関してご理解いただいた上で
お使いください。

2. 製品概要

本製品は、スロット型マルチシグナルマトリックススイッチャー KSM1604SLの出力部に搭載することのできる、スルー出力ボードです。KSM1604SLに入力された映像信号をそのままスルー出力します。



3 . 各部の詳細



固定ネジ

出力ボードを固定する固定ネジです。

ラベル

スルーボード SL-THであるときは、この部分に "THRU"と表示されています。

アナログRGB信号出力コネクタ (高密度DSUB15ピン)

アナログRGB映像出力コネクタです。IN9~ 16に入力された映像信号をそのまま出力します。

NTSC-コンポジット信号出力コネクタ (BNC)

NTSC-コンポジット映像出力コネクタです。IN1~ 8に入力された映像信号をそのまま出力します。

注意！ スルーボード挿入時はKSM1604SL側の入力設定にかかわらず、アナログRGB信号出力コネクタからはIN9~ 16の映像が出力され、NTSC-コンポジット信号出力コネクタからはIN1~ 8の映像が出力されます。

4 . ボードの挿入

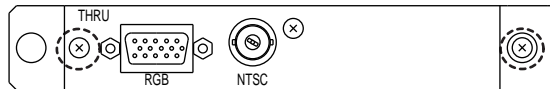
・挿入

KSM1604SLの電源が切れていることを確認します。
下図の2点のネジをはずしブランクパネルを取ります。
ガイドレールに沿って静かに挿入します。奥のコネクタに確実にボードがささるよう最後までしっかり挿入してください。
下図の2点のネジを止め、出力ボードを固定します。



・取り外し

本体の電源が切れていることを確認します。
下図の2点のネジをはずし、取っ手を持ち静かに出力ボードを引き抜きます。
ブランクパネルをネジで固定します。



注意！ 出力ボードの抜き差しは必ず本体の電源が入っていない状態で行ってください。



注意！ 出力ボードの抜き差し時、取っ手に指を挟みこまないように注意してください。

5 . 入力設定と動作

KSM1604SL本体の入力設定により本製品は以下のように動作します。

| 入力信号設定 | NTSC-コンポジット | Y/C | Y/Pb/Pr | RGB | スルー | オート |
|--------|-------------|-------|---------|-------|-------|-------|
| 動作 | スルー出力 | スルー出力 | スルー出力 | スルー出力 | スルー出力 | スルー出力 |

6 . 主な仕様

| | |
|----------|--|
| 型名 | SL-TH |
| 出力チャンネル数 | 映像 :2ch(アナログRGB及びNTSC-コンポジット 同時出力不可) |
| 出力コネクタ | 映像 :高密度DSUB15ピン、BNC |
| 映像入力信号 | アナログRGB RGB:0.7Vp-p(Sync on Green時 1.0Vp-p) 75 HD VD LV TTLレベル 470 終端 |
| | NTSC-コンポジット 1.0Vp-p 75 |
| 映像出力信号 | アナログRGB RGB:0.7Vp-p(Sync on Green時 1.0Vp-p) 75 HD VD: TTLレベル 75 ドライブ |
| | NTSC-コンポジット 40Hz~ 6MHz ± 1dB |
| 映像帯域 | アナログRGB 40Hz~ 150MHz ± 1dB |
| | NTSC-コンポジット 40Hz~ 6MHz ± 1dB |
| 使用温湿度条件 | 温度 :0~ 40 湿度 :20~ 80% (結露しないこと) |
| 電源電圧 | DC5V |
| 消費電流 | 約 0.1A |
| 外形寸法 | W148x D240x H23 |
| 質量 | 約 180g |



株式会社 光研

東京営業：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-11-1 TEL.(03)5651-7091 FAX.(03)5651-7310

大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6185 FAX.(06)6204-6188